

障がい者、貴重な働き手

積極雇用後押し



厚生労働省では、誰もが個人の能力と適性に応じて就労し、自立した生活を送ることのできる社会の実現を目指して、障がい者の雇用を推進している。

障がい者雇用促進法により、事業主は毎年6月1日現在の障がい者の雇用状況を厚生労働省に報告する義務があり、今年もその日が近づく。昨年3月より法定雇用率が2.2%から2.3%に引き上げられ、雇用義務のある事業主は従業員数45・5人以上から43・5人以上に拡大した。県内の障がい者雇用の状況を取りまとめる岐阜労働局地方障害者雇用担当の吉田恵氏

吉田恵氏
岐阜労働局地方障害者雇用担当



「悩むのは当然。ハローワークに何でも相談して」と話す吉田恵氏＝岐阜市金電町、岐阜労働局

雇用促進、サポート活用を

「話を聞いた。障がい者雇用における労働局の役割は、厚労省の地方機関で、県内にあるハローワークの上部機関。法定雇用率の達成状況の集計や発表を行う。現状を把握、周知する役割を担っている。雇用義務を果たさない事業主に対しては、規定に従って「雇入れ計画の作成命令や特別指導など」を行っている。特に岐阜地域に集中している。労働局はハローワーク、各地域の障害者就業・生活支援センターなどが連携し、ノウハウのない企業をサポートする体制を整えているので、これらを活用して活用してもらった方がいい。今後の動きについて、障がい者雇用を検討する企業に向けて、手厚い助成制度やサポート体制があるので、これらを活用して、まずは雇用してみたい。雇用後何かがあればハローワークに連絡してもらえば、フォローしてくれる。安心して頼っていただきたい。」



職員の仕事を参加者に説明する近藤真司さん(右から2人目)＝岐阜市芥見南山、コープさふ芥見店

企業セミナー 仕事ぶり紹介

障がい者雇用に踏み出した企業を対象にした「障がい者雇用スタートアップセミナー」が4月に生活協同組合コープさふ芥見店(岐阜市芥見南山)で行われ、県内企業3社4人が、同組合の障がい者雇用の取り組みについて学んだ。

同組合では1997年に初めて障がい者を採用。2011年には「働きたい!」をテーマに、やりがい

共生社会の実現には、障がいのある人も個性や能力を生かして働き、社会の一員として活躍できるような環境づくりが欠かせない。県は労働局や各支援機関などと連携して、障がい者雇用を推進する企業へのサポート体制を強化している。今回は、これらを取り組む企業に向けた支援事業や特別支援学校の紹介、先進的な企業3社の取り組みを通して、障がい者雇用について考えていく。



手際よく陳列作業をする男性職員＝同

を持って働けるような工夫もある。

セミナー会場となった芥見店では3人が勤務。参加者は、この日が勤務していった2人が作業の様子を見学した。キャリア10年超の女性職員は、慣れた手つきでデンプコよくヨーグルトを冷蔵の棚に陳列し、店長の鶴岡隆仁さんは「動きが的確で早い。新人を指導する立場になることもあり、かなりの戦力になっている」と紹介した。

若手の男性職員は、在庫を確認しながら、ビール缶の24本入りケースを次々と積んだり、小売り棚で手前商品を整え、ラベルの向きを整えたりと、きびきびと作業。他の職員が重たいものを持つときは、積極的に声をかけて手伝うことも多いという。現場の上司は「若く元気があったら、わからないことは聞いてくれる。意識が高く、向上心もある」と話した。

現場見学後は、同組合の

障がい者雇用担当で、県から「障がい者雇用アドバイザー」の選任を受けている近藤真司さんが同組合の取り組みについて説明。「生活支援が必要なケースもあるが、企業が従業員の生活面に深く介入することは難しいときもある。県や支援機関のサポートを活用することで定着につながる」と参加者にアドバイスした。

参加者からは「手際が良い上、自分から作業の説明をして、社交性も感じられた。人材不足解消のために自社でも雇用に取り組みたい」「自社でも障がい者雇用に取り組み始めたい」「まだ経験が浅い。今回見聞きしたことを参考にしていきたい」などの声が上がった。

同様のセミナーは、今後複数回実施予定。問い合わせは障がい者雇用企業支援センター(県障がい者総合就労支援センター内)、電話058(215)0582。

岐阜清流高等特別支援学校

岐阜清流高等特別支援学校(岐阜市芥見南山)は、軽度の知的障がいがある生徒たちが、卒業後の一般就労を目指すことを目的とした特別支援学校。県内初の高等特別支援学校として2017年4月に開校。定員は1学年48人で、本年度は全校で134人が学んでいる。

卒業後に社会人として働き続ける力をつけるためのカリキュラムが組まれている。一般的な教科とは別に、工業や園芸、食品、ヒルクリンクなど6つの専門コースが設置され、生徒は1年次から興味のあるコースを複数選択。学年が上がるごとに選択を絞っていき、専門的な知識や技術を実践的に学ぶ。またあいさ



授業で木工技術を学ぶ生徒＝岐阜市芥見南山、岐阜清流高等特別支援学校

就労実習、社会進出へ生き生き

つや身だしなみ、「報告・連絡・相談」の重要性など、日々から社会で働くことを意識した指導が行われている。働く環境に近づけるため、生徒たちは原則自力で通学し、給食はない。

1年次からは企業実習では、業種の異なる複数の企業へ実際に足を運び、働く現場を体験する。2、3年次は就職を見据え、企業を絞って実習を重ねていく。進路指導主任の北川百合教諭は「責任感を持ってもらうため、進路はすべて生徒自身の意思で決める。実習を繰り返す中で理解が深まり、卒業後も安定して働き続けられる生徒が多い」と話す。就職後も定期的に企業を訪問するなど、連携を続ける。

青山孝校長は「中学までは脇役の立場で過ごすことが多く、存分に力を発揮できなかった生徒が多いが、ここでは彼らが主役。自らの力で社会に飛び立つことを生徒たちの姿を見れば、嬉しい」と話している。

同校では、学校見学や実習受け入れについての相談を随時受け付けている。問い合わせは電話058(243)0710、同校進路担当で。

障がい者の働く環境整備を推進

障がい者の働く環境整備を推進する一般就労拡大連携会議は、障がい者の一般就労の促進を目的とする「障がい者の一般就労拡大連携会議」を県障がい者総合就労支援センターで開き、県担当者や岐阜労働局、障がい者団体の代表者らが意見を交わした。

県は精神障がい者の就労に関する相談件数が近年著しく増加していることから、同センターに基幹支援員を配置し、相談体制や研修の充実を図ることを示した。

県身体障害者福祉協会会長の岡本敏美氏は「障がい者が複数人集まって働く特例子会社などを活用しつつ、一人の労働者として認め、ともに働く体制が広がってほしい」と話した。

障がい者の働く環境整備を推進する一般就労拡大連携会議は、障がい者の一般就労の促進を目的とする「障がい者の一般就労拡大連携会議」を県障がい者総合就労支援センターで開き、県担当者や岐阜労働局、障がい者団体の代表者らが意見を交わした。

雇用したい企業と、働きたい障がい者とのマッチングを応援します!

岐阜県立 ハローワーク

県内で唯一、障がい者就労に特化したハローワークです。

こんなサポートをしています

- 企業など事業主の方
 - 求人登録
 - 勤務条件に関するご相談
 - 助成金制度のご案内
 - 求職者の紹介
- 障がいのある方
 - 求職の登録
 - 求人情報の閲覧
 - 就活サポート
 - 職業アセスメント
 - 職業紹介
- 企業の方へ

同施設内の職業能力開発校で学ぶ方の紹介や定着支援を行う障害者就業・生活支援センターの紹介など、手厚いサポートを行っています。登録窓口を1つ増やして、障がい者雇用につなげませんか。下記「岐阜県立ハローワーク」までお気軽にご相談、お問い合わせください。

岐阜県障がい者総合就労支援センター

2020年にオープンした、障がい者の一般就労の総合支援拠点。4つの機能を備え、障がい者雇用に取り組みたい企業と働きたい障がい者をワンストップで支援します。

岐阜県立ハローワーク [職業紹介]

障がい者雇用企業支援センター [就労支援]

障害者就業・生活支援センター [定着支援]

障がい者職業能力開発校 [職業訓練]

地域求職者マッチング支援事業

求職者の情報を知って、具体的な雇用イメージをつかむ

企業が障がい者の雇用を検討する際に、近隣の支援機関などに所属する求職者の情報を知ることができる事業です。

- 企業等(求人側)**
自社での雇用をイメージして「雇用検討情報」を登録「就活アピール情報」を参考に具体的な業務・配置をイメージ
障がい者雇用の前例が少なく、求人を出すことに不安のある企業を専門スタッフがサポートします
- 障がい者雇用企業支援センター**
参加企業とマッチング
ジョブミーティングや職場実習を実施。県立ハローワークを利用し雇用!
- 支援機関等(求職側)**
求職者の長所やスキル、通勤可能エリアや職種及び日数や時間の希望、お願ひしたい配慮などを示した「就活アピール情報」を提供

登録いただいたご担当者様にセンターよりご連絡いたします。

まずは参加登録!

※求職者ご本人ではなく支援機関等のご担当者様より登録してください。
※参加求職者の状況によっては、該当者がいない場合もあります。
※求職者の個人を特定する情報は、実際に雇用に進むまで企業側に明かされません。

●岐阜県立ハローワーク ☎058-215-8609 (来所の際は電話予約をお願いします) ●岐阜県障がい者雇用企業支援センター ☎058-215-0582 岐阜市学園町2-33 岐阜県障がい者総合就労支援センター1階